

お知らせ

沖縄県医師会館使用料の変更について（お知らせ）

沖縄県医師会では、この度の消費税率引上げ、また会館が築10年を経過し、空調設備等の修繕費の増加、および清掃、警備等の委託費の値上がり等による会館運営諸経費の増加に伴い、会員外料金の使用料を変更すると共に、会員料金の光熱費を「1回あたり」から「1時間あたり」に料金設定と金額を令和元年10月1日から変更することになりましたので、下記のとおりご案内致します。ご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

会 員 料 金			月曜日 ～ 金曜日		土 曜 日		日曜・祝日
			9時～17時	17時～22時	9時～17時	17時～22時	9時～22時
ホー ル	①	使用料 1時間あたり	無料	2,000円	無料	3,000円	3,000円
	②	現行 光熱費 1回あたり	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円
		変更後 光熱費 1時間あたり	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円
	③	設備等使用料 1回あたり	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円
会 議 室	①	使用料 1時間あたり	無料	1,000円	無料	1,500円	1,500円
	②	現行 光熱費 1回あたり	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
		変更後 光熱費 1時間あたり	500円	500円	500円	500円	500円
	③	設備等使用料 1回あたり	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円

会 員 外 料 金			月曜日 ～ 金曜日		土 曜 日		日曜・祝日
			9時～17時	17時～22時	9時～17時	17時～22時	9時～22時
ホー ル	①	現行 使用料 1時間あたり	10,000円	20,000円	10,000円	30,000円	30,000円
		変更後 使用料 1時間あたり	13,000円	26,000円	13,000円	39,000円	39,000円
	②	光熱費 1時間あたり	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円	1,500円
	③	設備等使用料 1回あたり	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円	2,000円
会 議 室	①	現行 使用料 1時間あたり	5,000円	10,000円	5,000円	15,000円	15,000円
		変更後 使用料 1時間あたり	6,500円	13,000円	6,500円	19,500円	19,500円
	②	光熱費 1時間あたり	500円	500円	500円	500円	500円
	③	設備等使用料 1回あたり	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円

注 ア)会館使用時間は、準備・片付けに要する時間を含むものとする。

イ)1時間に満たない場合、30分以上は1時間とみなす。

ウ)光熱費は、電気、水道、冷房等の使用料とする。

エ)台風等災害時はご利用をお断りする場合もある。

会館使用料金について

1. 会員又は地区医師会が主催するもので、会員を対象とする会合に使用する場合は、会員料金とする。
2. メーカーが主催する講演会等に関しては、会員が対象であっても会員外料金とする。
3. 九州レベル以上の学会・研修会等については、会員外料金とする。
4. 会員料金の適用については、会員本人が申請し、会員本人が支払うものとする。



ランドクルーザーで 行く秘境ムスタン王国

長嶺胃腸科内科外科医院
長嶺 信夫

1. 河口慧海の足跡を訪ねて

チベットに関心を持つようになってから、河口慧海に憧れるようになった。仏教經典の原典をチベットに求め、鎖国状態のチベット入国を決行する慧海の情熱と行動力を見るにつけ、自分も若ければ、無謀であっても同様のことをしたいと思ったものである。

これまでの3回のチベット旅行に際しても、慧海がたどった足跡を訪ねてきたのだが、慧海がインドからネパールを経由し、チベット入国を果たしたルートである秘境ムスタン王国（注：2008年王政廃止）を訪問するのは私の夢であった（写真1）。



写真1

大阪南海電鉄本線七堂駅前にある慧海像、ヤギをつれている。

ムスタン王国はチベット動乱以来1991年まで外国人の入国を強く規制してきた。現在もネパール政府から特別な入域許可証を得るなど種々の条件や規制がある。

ムスタンへの旅は、数年前まで馬と徒歩による旅であったが、まがりなりにも、道路が開通し、車で行けるようになっている。

ツアー参加者はランドクルーザーに分乗し、ネパールのポカラからカリガンダキ河沿いに北上、いたるところで道路工事中の標高2,500～4,000mの山腹の断崖沿いの道路や橋のない河を渡るスリル満点の旅であった。慧海が滞在したツァラン村を経由、ムスタンの最北の村・ローマタン、さらにチベット国境まで行く9日間の日程である（写真2）。



写真2

山腹の道路を走る車列。最後尾の車内から筆者撮影。

2. 慧海のチベット入りのルート

慧海はインドからネパールのポカラを経由し、ムスタン王国のツァランに行き、そこで10か月過ごししながら、チベット語とチベット仏教を学ぶとともにチベット入国の機会を探っていた。しかし厳しい検問体制にツァランからのチベット入国を断念、マルバ（マルファ）村に引き返し、マルバ村からトルボを経由し雪のヒマラヤ山中を北西に進み、マナサルワル湖、カイラス山をまわり、そこから東進、2001年3月にラサに到着している。ラサでは身分を隠し、シナ僧としてセラ寺に逗留、1年余チベット仏教を研究、さらにダライ・ラマ13世に謁見している。しかし身元が露見する危険に遭遇するや、数々の困難を乗り越えインドのダージリンに脱出している。

3. ツァラン村、そしてマルバ村

慧海がツァラン村に滞在していた時、慧海はシナ僧としてしか認識されておらず、また慧海

がチベットを脱出した後、慧海が入国前に村に滞在したことが発覚した場合、厳しい取り調べと処罰をうけることから、当事者が慧海の滞在を口外せず、子孫も長期間その事実を隠していた可能性がある。滞在先は現在空き地になっている（写真3）。



写真3 河口慧海が滞在したツァラン村の風景。

慧海はツァラン村からマルバ村に引き返して、マルバ村の村長の家に逗留している。

ところで、慧海がツァラン村に滞在している時、慧海はマルバ村近くのツクゼー村の出身でインドのカルカッタに行商に行く者に、インドのダージリンにいる著名な学者であるサラット・チャンドラ・ダース師あての手紙を託していたのだが、その行商人が半月ほどしてから返書をもってきた。返書の中にはインド大菩提協会の英文雑誌が含まれていた。このことで行商人がいろいろ流言して、慧海はシナのラマと言っているがイギリス政府の手先としてこの辺りの地理を調べ、その後チベットに入り、地理を詮索するのではないかなど流言し、はては慧海が世話になっている村長の父親にも告げ口したのである。

それを聞いた村長はその流言をもとに慧海を問い詰めるのであるが、「あなたがもし私に対して、3年間、私の言ったことを誰にも告げないという誓いを立てるなら秘密を明かしましょう」と言って、日本のパスポートを示し身分を明かしている。

私たち一行は当初の予定を変更してマルバ村の当時の村長宅を訪問した。村長宅は現在「河口慧海記念館」になっていて、中を見学することができた。1階には慧海が滞在した部屋があり、慧海が使用した机やベッド、服が残っていた。2階には仏堂（仏間）があり、家主がチベットから入手した仏像や経文が保存され、慧海の写真が飾られていた。

慧海は村長に身分を明かした後、村長に迷惑がかからないように村の寺に移っている。そのことを記念館の職員に訊いてみたのだが、知らないと言う。記念館を後にして帰途につく際、途中に立派なチベット仏教寺院が建っていた。私は慧海がマルバ村からトルボに発つ前に移り住んだ寺がその寺であろうと考えている。

4. ツクゼー村

マルバ村からポカラへの移動中、慧海がツァラン村に行く前に滞在したツクゼー村の知事宅も訪問することができた。当時の知事のひ孫が健在で、そのひ孫は数年前亡くなった母親から当時のことを聞いていた。その家は3階建ての立派な家で、現在ワインを醸造している。

翌日ポカラからカトマンズに戻り、市内観光の際ボードナートの大塔を訪問した。大塔の横に大きなチベット仏教寺院があった。現地ガイドは寺院の壁にある記念碑に慧海のことが書いてあると教えてくれた。碑には慧海がブッダガヤから汽車に乗りネパールの国境に近いセゴリーという停車場に着いた際、偶然にもカルカッタのネパール政府の大書記官からネパールの大塔のラマに宛てた紹介状の宛名の本人に遭遇、その後ネパールに入るまで同行し、カトマンズのボードナート村で大変世話になったブッダ・バジラ・ラマ師のことが記載されていた。そのラマは大塔の主人であるとともにその村の村長だったのである。旅を終え、あらためて歴史的偉業を成し遂げた慧海の「チベット旅行記」を読み返している（2019年5月記）。

沖縄県感染症発生動向調査報告状況

(定点把握対象疾患)

疾 病	定点区分	31 週	32 週	33 週	34 週	
		8/4	8/11	8/18	8/25 (定点あたり)	
		報告数	報告数	報告数	報告数	
インフルエンザ	インフルエンザ	527	619	711	766	(13.21)
RS ウイルス感染症	小児科	174	106	63	33	(0.97)
咽頭結膜熱	小児科	55	66	62	79	(2.32)
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	48	34	18	18	(0.53)
感染性胃腸炎	小児科	89	95	89	74	(2.18)
水痘	小児科	22	10	8	12	(0.35)
手足口病	小児科	160	156	164	140	(4.12)
伝染性紅斑	小児科	7	7	5	15	(0.44)
突発性発疹	小児科	16	17	13	25	(0.74)
ヘルパンギーナ	小児科	22	18	18	20	(0.59)
流行性耳下腺炎	小児科	4	0	4	3	(0.09)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	21	22	14	26	(2.89)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	3	2	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	1	2	0	2	(0.29)
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	基幹	0	0	0	0	(0.00)
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)

※ 1. 定点あたり・・・対象となる五類感染症（インフルエンザなど 18 の感染症）について、沖縄県で定点として選定された医療機関からの報告数を定点数で割った値のことで、言いかえると定点 1 医療機関当たりの平均報告数のことです。
(インフルエンザ定点 58、小児科定点 34、眼科定点 10、基幹定点 7 点)

※ 2. 最新の情報は直接沖縄県感染症情報センターホームページへアクセスしてください。
麻疹の情報も随時更新しております。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html>

お 知 ら せ

会員にかかる弔事に関する医師会への連絡について (お願い)

本会では、会員および会員の親族（配偶者、直系尊属・卑属一親等）が亡くなられた場合は、沖縄県医師会表彰弔慰規則に基づいて、弔電、香典および供花を供すると共に、日刊紙に弔慰広告を掲載し弔意を表することになっております。

会員に関する訃報の連絡を受けた場合は、地区医師会、出身大学同窓会等と連絡を取って規則に沿って対応しておりますが、日曜・祝祭日等に当該会員やご家族からの連絡がなく、本会並びに地区医師会等からの弔意を表せないことがあります。

本会の緊急連絡体制については、平日は本会事務局が対応し、日曜・祝祭日については、緊急電話で受付して担当職員へ取り次ぐことにしておりますので、ご連絡下さいようお願い申し上げます。

○平日連絡先：沖縄県医師会事務局

TEL 098-888-0087

○日曜・祝祭日連絡先：090-6861-1855

○担当者 経理課：平木怜子 池田公江

講演会・例会のご案内

(10月10日～12月9日)

カリキュラムコード(略称:CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1 全身倦怠感	18 けいれん発作	35 胸やけ	52 不安	69
医療倫理:臨床倫理	2 身体機能の低下	19 視力障害、視野狭窄	36 腹痛	53 気分の障害(うつ)	70
医療倫理:研究倫理と生命倫理	3 不眠	20 目の充血	37 便通異常(下痢、便秘)	54 流・早産および満期産	71
医師-患者関係とコミュニケーション	4 食欲不振	21 聴覚障害	38 肛門・会陰部痛	55 成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5 体重減少・るい瘦	22 鼻漏・鼻閉	39 熱傷	56 慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6 体重増加・肥満	23 鼻出血	40 外傷	57 高血圧症	74
医療の質と安全	7 浮腫	24 嘔声	41 褥瘡	58 脂質異常症	75
感染対策	8 リンパ節腫脹	25 胸痛	42 背部痛	59 糖尿病	76
医療情報	9 発疹	26 動悸	43 腰痛	60 骨粗鬆症	77
チーム医療	10 黄疸	27 心肺停止	44 関節痛	61 脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11 発熱	28 呼吸困難	45 歩行障害	62 気管支喘息	79
地域医療	12 認知能の障害	29 咳・痰	46 四肢のしびれ	63 在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13 頭痛	30 誤嚥	47 肉眼的血尿	64 終末期のケア	81
災害医療	14 めまい	31 誤飲	48 排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65 生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15 意識障害	32 嚥化困難	49 乏尿・尿閉	66 相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16 失神	33 吐血・下血	50 多尿	67 その他	0
急性中毒	17 言語障害	34 嘔気・嘔吐	51 精神科領域の救急	68	

開催日	場所	名称	講師	CC・単位	問合せ先 参加費
10/10 (木) 19:30	那覇市医師会館	第7回 学術生涯教育講演会 (日 医生涯教育講座) ①高血圧と糖尿病 (仮) ②MR 関連高血圧治療における治療戦略 (仮)	①高橋 隆 先生(おもと会大浜 第一病院 糖尿病センター長) ②砂川 長彦 先生(沖縄赤十字 病院 循環器内科 第一部長)	①23)0.5単位 ②74)0.5単位、 82)0.5単位	那覇市医師会 事務局 (上地) 098-868-7579 参加費 なし
10/23 (水) 19:30	沖縄県医師会館	沖縄消化器内視鏡会10月例会 ①消化器疾患症例提示	県立南部医療センター・こども医療センター		浦添総合病院 譜久村 由美子 098-878-0231 参加費 なし
10/17 (木) 19:30	沖縄かりゆしアー バンリゾート・ナ ハ	Diabetes&Incretin Seminar in 沖縄 (日 医生涯教育講座) ①経口血糖降下薬にできること ②週1回投与のGLP-1製 剤に対する期待～医療者 と患者さん、それぞれの 視点から考える～	①比嘉 盛丈(豊見城中央病院特 命副院長糖尿病・生活習慣病 センター長) ②調 進一郎(医療法人社団一洋 会H.E.Cサイエンスクリ ニック糖尿病センター長)	①76)0.5単位 ②4)0.5単位、 82)0.5単位	大日本住友製薬(株) 鎌田 良徳 092-432-5623 参加費 なし
10/18 (金) 19:00	中頭ホール	中部地区 不整脈連携講演会 (日 医生涯教育講座) ①潰瘍性大腸炎の基本治療薬 の使い方 ②クローン病の病態を考慮に 入れた治療戦略	①安部 瞬 先生(中部徳洲会病 院 消化器内科) ②平井 郁仁 先生(福岡大学医 学部消化器内科学教室 教授)	①54)0.5単位 ②53)0.5単位、 55)0.5単位	中部地区医師会 比嘉 嗣美 098-936-8201 参加費 なし

開催日	場所	名称	講師	CC・単位	問合せ先 参加費
11/08 (金) 20:00	沖縄県医師会館	第44回沖縄リウマチ・膠原病 懇話会 (日医生涯教育講座) 戦略的IL-6阻害薬 選択のす すめ	林 太智(ひたちなか総合病院リウ マチ膠原病センター長)	61)1.0単位	旭化成ファーマ(株) 石坂 文寛 098-869-9540 参加費 参加費500円
11/22 (金) 19:00	沖縄県医師会館	令和元年度かかりつけ医等心 の健康対応力向上研修 (日医生涯教育講座) ①沖縄県における飲酒問題と 琉球病院での取り組み ②アルコールとうつ、自殺～ 「死のトライアングル」 を防ぐために	①中井 美紀(独立行政法人国立 病院機構琉球病院精神科医長) ②松本 俊彦(国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究セン ター精神保健研究所薬物依存 研究部部長/病院薬物依存症 センターセンター長)	①11)0.5単位、 73)0.5単位 ②5)0.5単位、 70)0.5単位	沖縄県立総合精神保健福 祉センター 與那原 陽子 098-888-1443 参加費 なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。

※お願い：12月10日～2月9日迄の講演会例会等が決まれば、10月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

お 知 ら せ

文書映像データ管理システムについて (ご案内)

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」(下記 URL 参照)をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局(TEL098-888-0087 担当：新垣・國吉)までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

○「文書映像データ管理システム」

URL : <http://www.documents.okinawa.med.or.jp/>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

産業医研修会のご案内

令和元年度 産業医研修会案内

令和元年度みだし研修会を別紙要領により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記により FAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

研修会参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込み研修番号	A ・ B ・ C ・ D ・ E ・ F ・ G ・ H
参加申込者	氏名：
	氏名：
	氏名：
	氏名：
施設名	
TEL	
認定区分	認定医 ・ 未認定医

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願い致します。

沖縄県医師会事務局 業務1課 久場
(TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

令和元年度沖縄県医師会産業医研修会実施計画

申込み 研修番号	研修会名	日 時	場 所	カリキュラム (付与単位数)	講師名	講師所属	研修タイトル
終了	基礎研修 (前期のみ)	4月18日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 2階会議室2	(1)作業管理(2単位) (2)健康保持増進 (2単位)	(1)青木 一雄 (2)清水 隆裕	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)ちばなクリニック健 康管理センター医長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)過重労働対策として の作業管理の進め方 (2)産業医として診る健 康診断
終了	基礎研修 (前期のみ)	5月16日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 2階会議室2	(1)産業医活動の実際 (2単位) (2)有害業務管理 (2単位)	(1)青木 一雄 (2)伊志嶺 隆	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)伊志嶺整形外科院長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)産業医活動実施に向 けての留意点 (2)産業医が知っておく べき有害業務管理
終了	基礎(後期)、 生涯 (更新・専門)	6月13日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)労働衛生管理体制 (総括管理) (2単位) (2)労働衛生関係法規 と関係通達の改正 (2単位)	(1)青木 一雄 (2)加藤 浩司	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)加藤社会保険労務士 事務所	(1)労働衛生管理体制の 構築に向けて、産業 医としてどのように 係わるか？ (2)関係法規及び通達を 読み解き、背景を含 めて改正の動向につ いて理解を深める
終了	基礎(実地)、 生涯(実地)	7月4日(木) 18:30～ 21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)メンタルヘルス 対策(3単位)	(1)山本 和儀	(1)山本クリニック 院長・ 沖縄産業保健総合支 援センターメンタル ヘルス相談員	(1)ストレスチェックに おける産業医の面接 指導とその後の展開 ※定員 60名
終了	基礎(後期)、 生涯(専門)	8月3日(土) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)健康管理(2単位) (2)作業管理(2単位)	(1)青木 一雄 (2)清水 隆裕	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)ちばなクリニック健 康管理センター医長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)産業医としての健康 管理のミニマム・リ クワイアメント (2)作業管理とは労働時 間と作業時間に注目 して
終了	基礎(後期)、 生涯(専門)	9月12日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)有害業務管理 (2単位) (2)労働衛生教育 (2単位)	(1)青木 一雄 (2)清水 隆裕	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)ちばなクリニック健 康管理センター医長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)有害業務による健康 障害の防止～労働衛 生の原点から化学物 質のリスクアセスマ ントに向けて～ (2)労働衛生教育の対象 と実際
G	基礎(後期)、 生涯 (更新・専門)	10月10日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)労働衛生関係法規 と関係通達の改正 (2単位) (2)メンタルヘルス 対策(2単位)	(1)加藤 浩司 (2)山本 和儀	(1)加藤社会保険労務士 事務所 (2)山本クリニック 院 長・沖縄産業保健総 合支援センターメン タルヘルス相談員	(1)関係法規及び通達を 読み解き、背景を含 めて改正の動向につ いて理解を深める (2)働き方改革の時代の 産業医の役割
H	基礎(実地)、 生涯(実地)	11月9日(土) 18:30～ 21:30	沖縄県医師会館	(1)職場巡視と討論 (3単位)	(1)伊志嶺 隆	(1)伊志嶺整形外科院長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)バーチャル職場巡視 と討論

※単位制の研修につき、時間厳守をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

※上記研修会は日本医師会へ申請中です。場所、研修タイトル等が変更になる場合がありますのでご注意ください。

産業医研修会のご案内

2019 年度（後期）産業保健研修会予定表

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健担当者等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催しています。

参加ご希望の方は、下欄「申込書」に記載の上、この用紙で（FAX：098-859-6176）お申し込み下さい。

当センターホームページにも研修会の案内を掲載しておりますので、ご参照下さい。（<https://www.okinawas.johas.go.jp>）

※なお、「定員」に達した場合は受付を終了させていただくことがあります。ご了承ください。詳しくは当センターホームページでご確認下さい。

※申込みの際にご記入いただいた個人情報は、本研修会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただくことがあります。また、「かわら版」の研修予定以外に研修会を開催することがございますのでホームページをご覧ください。

問合せ先：沖縄産業保健総合支援センター / 〒901-0152 那覇市宇小緑 1831-1（2 階） / TEL.098-859-6175 / FAX.098-859-6176

産業医研修（生涯研修 2 単位：「産業医学研修手帳（Ⅱ）」をご持参ください。）

研修会 番号	日時	研修 時間	研修テーマ	内容	講師	会場
39	10/24 (木)	18:30- 20:30	事務系職場の巡視について (生涯実地)	製造業などと違い、事務所場の巡視は、軽視されがちですが、どのような観点で行えばいいのかスライドを見ながらグループ討議をしてみましょう。	伊志嶺隆 (産業医)	303
40	11/19 (火)	18:30- 20:30	職場における発達障害を有 する人への合理的配慮につ いて (生涯専門)	発達障害を有する人への合理的配慮について、皆で考えま しょう。	国吉直美 (産業医)	303
41	11/27 (水)	18:30- 20:30	産業医学メンタルヘルス・ ストレスチェック事例検討 会 (2) (生涯実地)	ストレスチェック及びメンタルヘルス対策に関連した企業 及び個別の事例について検討することを通して、実践的な 問題解決法を学びます。	山本和儀 (産業医)	303
42	12/4 (水)	18:30- 20:30	職場巡視の実践 2 (生涯実 地)	職場巡視の役割・ポイント等をまとめ、画像により、事業場 内の安全衛生面の問題点をみつけ、その解決方法を共に検 討します。	崎間敦 (産業医)	303
43	12/9 (月)	18:30- 20:30	石綿関連疾患診断技術研修 (生涯実地)	石綿関連疾患に係る診断について、石綿に関する一般的知 識、職域における石綿ばく露、石綿ばく露の把握方法、石綿 関連疾患の診断病態、診断及び労災補償制度等について説 明します。	岸本卓巳 (岡山労災 病院)	304
44	12/10 (火)	18:30- 20:30	治療と仕事の両立支援 (生涯専門)	治療と仕事の両立支援について、「ガイドライン」を踏まえ、 サポートにあたる主治医、産業医等の役割や関わり方につ いて説明します。	産保センター	306
45	12/19 (木)	18:30- 20:30	企業における安全配慮義務 (生涯更新)	企業が社員に対する安全配慮義務（過重労働、パワハラ・セ クハラなど）について、最新の事例をもとに企業の対応策に ついて検討してまいります。	平良卓也 (弁護士)	307
46	1/17 (金)	18:30- 20:30	産業医を対象としたメンタ ルヘルスの関わり方 (生涯 専門)	副題：『「こころの立体モデル」マインドの構造について」 内容：メンタルを支えるマインドの構造を立体的に解釈し、 産業医としての PEG (patient evaluation grid) の見立てから 全人的ケアを目指す方法論を開設します。	岡野寛 (産業医)	304
47	1/23 (木)	18:30- 20:30	ハラスメントとメンタルヘ ルス (生涯実地)	パワハラが原因でメンタル不調になり休職になるケースが 少なからずみられます。事例も交えながらハラスメント対 策を考えます。	伊志嶺隆 (産業医)	303
48	2/6 (木)	18:30- 20:30	働き方改革における関連法 (生涯更新)	2019 年 4 月 1 日から働き方改革関連法が施行されました。 働き方改革関連法パワーハラスメント対策の内容につ いて、説明します。	前里久誌 (社労士)	304
49	2/21 (金)	18:30- 20:30	産業医を対象としたメンタ ルヘルスの関わり方 (生涯 専門)	副題：『「こころの立体モデル」マインドの構造について」 内容：メンタルを支えるマインドの構造を立体的に解釈し、 産業医としての PEG (patient evaluation grid) の見立てから 全人的ケアを目指す方法論を開設します。	岡野寛 (産業医)	304

※研修会番号「43」についてのお知らせ（今年度沖縄において特別の開催となります）

内容：石綿に関する一般的知識や石綿による疾病の労災補償制度等（基礎研修）

対象：呼吸器系の疾患を取り扱う医師や産業医等（<https://www.research.johas.go.jp/asbestokenshu/>）

定員：40 名（講師：アスベスト疾患研究・研修センター長 岸本卓巳（岡山労災病院））

申込書 (FAX: 098-859-6176) ※キャンセルの場合は必ずご連絡下さい			
開催場所	沖縄産業支援センター 3 階会議室		
ふりがな 氏名	研修会番号		
所属機関 (事業場名)	所属部署		
職種	1. 産業医 2. 産業看護職 (保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他 ()		
電話番号	(FAX)	メルマガ配信の希望の有無	有 () ・ 無 ()

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願いします。
※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 令和 年 月 日 ()

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ()
病院から事業所までの所要時間(片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日(事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
()に第何週か記入下さい	①第()水曜日 ②第()木曜日 ③第()土曜日
ストレスチェックの 実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先
沖縄県医師会業務1課(久場)
TEL:098-888-0087
FAX:098-888-0089

災害医療研修会のご案内

2019 年度沖縄県医師会災害医療研修プログラム

沖縄県医師会では、東日本大震災や熊本地震等の教訓を活かし、次の大規模災害に備えた姿勢の整備として、平成 26 年度より災害医療研修プログラムを実施しております。

2019 年度の開催プログラム(一部未定あり)が決定いたしましたのでお知らせいたします。
各コースへの受講申込は、下記により FAX(098-888-0089)にてお申込みください。

No	日時	プログラム(案)	研修形態
終了	7 月 20 日(土) 15:00-17:00	地域医療本部の立ち上げと運営	講義＋図上
終了	9 月 5 日(木) 19:30-21:00	J-SPEED、EMIS の入力	講義＋演習
3	10 月 17 日(木) 19:30-21:00	メンタルヘルス・DPAT	講義
4	10 月 31 日(木) 19:30-21:00	医療救護所の運営と巡回診療	講義
5	12 月 5 日(木) 19:30-21:00	公衆衛生(DHEAT の視点から)	講義

■ 会場は、沖縄県医師会館 3 階ホールを予定しております。

----- 参加申込票 -----

■ FAX:098-888-0089 参加希望の研修番号に○印を付け、お申込みください。

申込番号	1 — . 2 — . 3 . 4 . 5
施設名	
氏名	医師・看護師・業務調整員・その他

～ICLS コース開催のお知らせ～

ICLS(Immediate Cardiac Life Support)コースとは、最新の心肺蘇生ガイドラインに基づいた二次救命処置について学ぶ日本救急医学会認定のトレーニングコースです。成人の心肺停止に的をしぼり、最初の10分間に行うチーム医療を、シミュレーション実習を通して学びます。今年度、開催期日が決定しましたのでお知らせします。

名称	時間	実施場所
第65回 新おきなわICLSコース (終了)	5月19日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第66回 新おきなわICLSコース (終了)	7月14日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第67回 新おきなわICLSコース (終了)	9月14日(土) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第68回 新おきなわICLSコース	1月25日(土) 9:00～18:00	名桜大学
第68回 新おきなわICLSコース	3月1日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
 各コースとも受講料(昼食代込、テキスト代別)は、医師・歯科医師 8,000 円、コメディカル 6,000 円を予定しています。		
 各コースとも募集は2ヶ月前に以下リンク先に掲載されますので、お申込み下さい。  沖縄県医師会 http://www.okinawa.med.or.jp/html/kyukyu/kyukyu/kyukyu.html  おきなわクリニカルシミュレーションセンター http://okinawa-clinical-sim.org/course.html		
 受講選考については、これまで通り申し込み順ではなく、施設間のバランスやインストラクターの参加状況を踏まえ、決定することになりますので、ご了承ください。		
・問い合わせ先: trees@me.au-hikari.ne.jp (沖縄 ER サポート 林 峰栄) ・問い合わせ先: 沖縄県医師会事務局 業務1課(崎原) TEL. 098-888-0087 FAX. 098-888-0089		

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏 名			*生年月日	(西暦) 年 月 日生
*住 所	〒 -			
*連 絡 先	電話(自宅または携帯)：			
	E-mail：			
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号	
*医籍番号	第 号	*専門診療科		
資 格	専門医資格	その他の資格		
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：			
現在の勤務先				
希望 条件	就 業 形 態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：		
	希望診療科			
	施 設 種 別	①病院 ②診療所 ③その他：		
	希 望 地 域	第1希望： ☐ 那覇 ☐ 南部 ☐ 中部 ☐ 北部 ☐ 離島 第2希望： ☐ 那覇 ☐ 南部 ☐ 中部 ☐ 北部 ☐ 離島		
	勤務希望時期	①今すぐ ②令和 年 月頃から ③未定		
	勤 務 時 間	勤務可能な曜日： 月・火・水・木・金・土・日 勤務可能な時間帯： 時 分 ～ 時 分		
	当 直 勤 務	①できる ②できない		
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医		
	給 与	常勤務の場合： 月給： 以上		
		非常勤の場合： 日給： 以上 月給： 以上		
		臨時の場合： 時給： 以上		
	保 育 所	①必要 ②必要なし		
	再就業のための再研修	①必要 ②必要なし		
	その他希望			

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089



労務管理者向け勤務環境改善セミナー開催のお知らせ

ご承知のとおり、改正医療法において、医療機関の勤務環境改善が各医療機関の努力義務として位置づけられたことに伴い、沖縄県医師会（沖縄県医療勤務環境改善支援センター）では、平成 27 年度よりみだしセミナーを開催しておりますが、今年度も引き続き、職場環境改善に必要な知識の習得・啓発に向けたセミナーを下記のとおり開催いたします。本セミナーでは、終了後、医療機関からの無料相談会も実施しております。

参加ご希望の方は、各セミナー番号に○印を付け、必要事項を記載の上、FAX（098-888-0089）にて各日程の 2 週間前までにお申し込み下さい。

	日時	時間	プログラム
終了	6 月 10 日（月）	13:30 ～ 15:30	「平成 31 年度 働き方税制を活用して進める医療機関の勤務環境改善」 （働き方改革関連法施行に伴う企画 1 回目）」 講師：県担当者、名城 志奈（アドバイザー社労士）
終了	7 月 22 日（月）	13:30 ～ 15:30	「働き方改革に伴う法改正の実務 ～年次有給休暇について」 （働き方改革関連法施行に伴う企画 2 回目）」 講師：比嘉 太（アドバイザー社労士）
終了	8 月 5 日（月）	13:30 ～ 15:30	「働き方改革に伴う法改正の実務 ～残業規制について」 （働き方改革関連法施行に伴う企画 3 回目）」 講師：村上 礼子（アドバイザー社労士）
終了	9 月 9 日（月）	13:30 ～ 15:30	「PDCA で進める、医療機関の勤務環境改善の実践」 内容：ワーク・ライフ・バランス推進リーダーに役立つ事例とワークショップ 講師：青山 喜佐子（アドバイザー社労士）
5	10 月 21 日（月）	13:30 ～ 15:30	「ここがポイント、平成 31 年度の助成金をまるっと紹介」傾向と対策 講師：名城 志奈（社会保険労務士）
6	11 月 11 日（月）	13:30 ～ 15:30	「働き方改革をすすめるための労務管理のポイント！（仮）」 内容：医療機関における働き方改革を進める際の課題について 最新の情報提供を行います

セミナー対象者は、労務管理者、または今後そうした立場になる可能性のある方、職場環境改善に関わる方などを含みます。申込が複数いる場合はコピーをご利用下さい。

セミナー開催場所は、沖縄県医師会館（南風原町字新川 218-9）で開催いたします。

参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込番号	1	2	3	4	5	6
施設名						
職氏名						

沖縄県医師会事務局
沖縄県医療勤務環境改善支援センター 久場
TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

ご存知ですか？

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。
将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことの出来る環境整備が必要です。

沖縄県医師会

医療勤務 環境改善 支援センター

平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。
本センターには医療勤務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医業分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

まずは「できるところから」始めてみましょう

相談

情報
提供

助言

支援

医療勤務
環境改善に
関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）
労働安全衛生（スタッフ健康支援）
施設環境整備（ハード・ソフト）
キャリア形成支援等

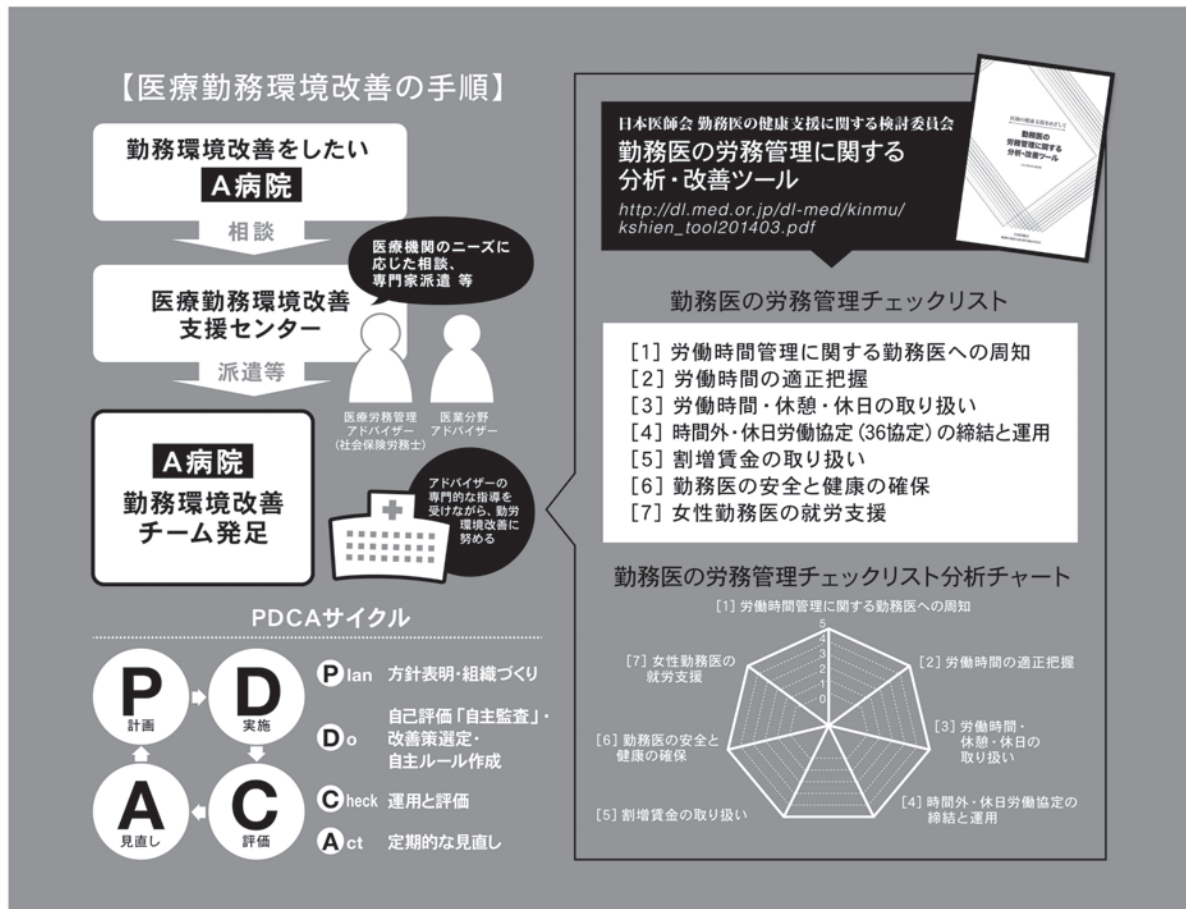
診療報酬制度面
医療制度・医療法制度面
組織マネジメント・経営管理面
各種補助メニューの活用提案

お問い合わせ

TEL:098-888-0087

沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川218-9
FAX:098-888-0089 平日9時～17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryoku-kinmukankyou.mhlw.go.jp/>



沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

無料

沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書

記入日：令和 年 月 日

所属機関		
連絡先	TEL	内線
担当者氏名		
希望相談支援内容	医療労務管理面 ・ 医業経営面	
相談方法	電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談	
希望日	令和 年 月 日	

沖縄県医師会

生涯教育／プライマリ・ケア

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付してください。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名、雑誌名 発行年；巻：ページ。

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名、(版数)、発行所、発行所の所在地、発行年；引用ページ。

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名、編者名、シリーズ名、巻数、発行所、発行地、発行年；引用ページ。

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名、URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き、http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間(週間) 行事お知らせ

○字数制限：2,000 字以内

○内容：医療関係の行事等について

発言席

○字数制限：2,500 字以内

○内容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医／臨床研修医

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

○字数制限：1,000 字以内

○内 容：各地区医師会の活動状況

(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

○字数制限：1,500 字以内

○内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業願末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

○字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内

○内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

○字数制限：1,500 字以内

○内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

○字数制限：1,000 字以内

○内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

○字数制限：1,500 字以内

○内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

○沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課

〒901-1105 南風原町新川 218-9

TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089

E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

平成 29 年 7 月 1 日より

「味覚の秋、芸術の秋」皆様には充実した日々をお過ごしのことと存じます。

まず、表紙を飾ったのは、小濱 守安先生が屋久島で撮影したヤクシマザル親子の写真です。親子でほのぼのと毛づくろいをしている様子を収めた写真ですが、襲ってくることもあるとのことで、野生の怖さを感じる1枚です。

出口 宝先生から令和元年度沖縄県災害対策本部設置運営訓練の報告がなされていますが、昨今の自然災害による甚大な被害のため、写真からも緊張感が伝わってきます。

ゆらぐ健康長寿おきなわ「働き盛りの健康づくり」—あなたと家族のために65歳未満の死亡を防ぐ—と題して開催された第29回沖縄県医師会県民公開講座について白井 和美理事から報告されています。今回の公開講座は従来と比べ働き盛り世代が多く来場したとのことで、より意義ある公開講座になったと考えます。安里 哲好会長、砂川 博司理事、崎間 敦先生の講演内容も参考になります。

宮里 善次副会長からマスギャザリング災害対策セミナーに参加しての報告がなされていますが、起こらないことが望ましいですが、「備えあれば憂いなし」と感じました。

伊良波 裕子先生、宮里 善次副会長から第15回男女共同参画フォーラムの報告がなされています。当院でも多くの女性医師が勤務していますが、男性医師も含めた全医師の働き方改革が今後の大きな課題と考えます。

徳永 義光理事から第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会の報告です。「関係機関の横断的協力をもって未来志向の性教育が行われることを希望します。」難しいですが、非常に重要な課題だと感じました。

令和元年度(第41回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議で「大規模災害時の保健医療活動や県境を越えた医療連携」についての議論がなされたことが、安里 哲好会長から報告されています。

本竹 秀光理事から、第50回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会に参加しての報告がなされていますが、「療養支援室、総合診療科の役割、経営戦略、働き方改革」と、課題が山積していると感じました。

比嘉 靖理事からは、知念 正雄先生瑞宝双光章受章・末永 英文先生瑞宝小授章受章祝賀会、藤田 次郎前琉球大学医学部附属病院長退任・大屋 祐輔琉球大学医学部附属病院長就任激励会の様子が報告されています。知念先生・末永

先生の長年の御尽力に感銘いたします。藤田先生には病院長退任後も琉球大学附属病院と沖縄県医師会とのパイプ役を御願います。大屋先生には沖縄県の医療のため、ますますの御活躍を祈念いたします。

平成30年度の生涯教育コーナーのハガキによる上位申告者の先生方おめでとうございます。

元県立中部病院内科(感染症) 喜舎場 朝和先生の生涯教育コーナーへのご感想を読み、先生の向学心を我々後輩も見習わないといけないと感じました。

そして、今月の生涯教育は独立行政法人国立病院機構沖縄病院 脳・神経・筋疾患研究センター センター長の諏訪園 秀吾先生に「沖縄型神経原性筋萎縮症の自然史—2019年における臨床研究の現状」と題して執筆していただきました。疾患名に「沖縄型」と付く疾患はなかなかないと思われます。iPS細胞、モデルマウスの作成と今後の研究結果が楽しみです。

プライマリ・ケアコーナーには「薬剤性肺障害について」中頭病院呼吸器内科の山元 隆太先生に執筆していただきました。確定診断のための検査法は確定していないため、総合的な判断が必要とのことであり、ポリファーマシーの問題も含め、今後も薬剤投与は慎重に行わないといけないと痛感しました。

発言席のコーナーとして中村 義清先生からの、警察医部会の今後の在り方(提案)2を掲載しました。「警察業務に協力できる医師の会」について知り、微力ながら協力したいと思いました。

発言席コーナーに介護老人保健施設「あけみおの里」の石川 清司先生から経鼻経管栄養から経口摂取へ移行が可能であった3例の症例提示があり、超高齢社会を迎えた現在、多くのことを考えさせられました。

10月は乳がん検診受診推進月間であり、上原 協先生から一日一人に「乳がん検診受けてね!」と声をかけていただきたいとのご提案があり、私自身の外来でも声をかけていきたいと思えます。

随筆のコーナーでは、長嶺 信夫先生から、長年の夢であった秘境ムスタン王国へ道のりを描いた壮大な随筆が寄せられています。ランドクルーザーでも転げ落ちそうな険しい山道の写真を見て、先生の夢の大きさに感動しました。

秋刀魚は不漁で高いようですが、美味しいものを食べて、しっかり体も動かして、健康長寿をめざしましょう。

広報委員 間仁田 守